令 和 ８ 年 度

通常総会議案書

日　　時　　令和８年４月２２日（水）
　　午後７時３０分～

場　　所　　広川町商工会館　２階　会議室

広川町商工会青年部

誓 い の 言 葉

一　われわれ商工会青年部は、創造力と行動力をいかし、地域振興の先駆者となる。

一　われわれ商工会青年部は、商工会の後継者であり、将来の中核として、組織活性化の推進力となる。

一　われわれ商工会青年部は、社会一般の福祉の増進に努め、新しいまちづくりの原動力となる。

令和８年度広川町商工会青年部通常総会

議　　案

第１号議案　　令和７年度事業報告書並びに収支決算書の承認について

監査報告

第２号議案　　令和８年度部費額及び徴収方法の決定について

第３号議案　　令和８年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の決定について

その他

第１号議案

令和７年度事業報告書並びに収支決算書の承認について

令和７年度事業報告書並びに収支決算書を次の通り提出する。

令和８年４月２２日

広川町商工会青年部
部長　竹　中　　仁

令和７年度事業報告書

自　令和７年　４月　１日
至　令和８年　３月３１日

令和７年度の日本経済は日経平均が５万円を超え、賃上げや物価・金利の上昇が見られる一方で、強国の対立やトランプ関税など世界情勢の不透明感は解消されず、依然として経済を取り巻く環境は極めて不確実な状況にあります。また、地方の中小企業、小規模事業者は、円安に伴う原材料・エネルギー価格等の高騰に加え、人手不足や人件費の増加、さらには消費低迷など数多くの課題に直面しています。こうした中、成長型経済へと移行し、地域経済の好循環を実現していくためには、「小規模・中小企業の稼ぐ力の強化」と「地域経済の活性化」が不可欠です。

このような状況下の中でも我々商工会青年部は、どんな問題にも臆することなく、困難に立ち向かうべく商工会の後継者として、経営に携わる者として、地域の発展と活性化の一助となるべく、次の事業に取り組みました。

以下、実施した事業活動を報告する。

年月日	内　　容	場　　所	参加者
7. 4. 9	令和７年度第１回県青連役員会	和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」	竹中部長出席
7. 4. 9	令和７年度第１回郡青連役員会（部長会議）	湯浅町「湯浅町商工会１階会議室」	竹中部長出席
7. 4.20	令和７年度県青連通常総会兼レベルアップ研修会	和歌山市「ダイワロイネットホテル」	竹中部長欠席
7. 5.14	令和７年度青年部監査会・役員会・通常総会	広川町「広川町商工会２階会議室」	竹中部長、部員２名出席
7. 5.27	令和７年度第１回商工会青年部長会議	和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」	竹中部長出席（途中退席）
7. 6. 4	令和７年度第２回郡青連役員会（部長会議）	湯浅町「湯浅町商工会１階会議室」	竹中部長出席
7. 6.18	令和７年度第39回郡青連通常総会	湯浅町「湯浅えき蔵3F 地域交流センター」	竹中部長出席、部員４名欠席
7. 7. 2	令和７年度商工会青年部 全国統一事業「“絆”感謝運動」	広川町「広川マリントンネル内」	竹中部長、部員３名出席
7. 7.13	第 52 回商工青年セミナー並びに商工会青年部主張発表和歌山県大会	白浜町「ホテルシーモア」	竹中部長、部員４名欠席

年月日	内　　容	場　　所	参加者
7. 9. 2 ～3	令和７年度近畿ブロック商工会青年部交流研修会及び近畿ブロック商工会青年部主張発表大会	京都府京都市「ホテルグランヴィア京都 源氏の間」	竹中部長、部員４名欠席
7. 9.17	令和７年度第２回県青連役員会	和歌山市「紀の国住宅 東部コミュニティセンター」	竹中部長出席
7.10. 8	令和７年度第１回広川町商工会青年部会議	広川町「広川町商工会２階会議室」	竹中部長、部員３名出席」
7.11. 2	第４１回商工祭	広川町ふるさとまつり会場（広川町町民体育館前）	竹中部長、部員３名出席
7.11. 5	令和７年度第３回郡青連役員会（部長会議）	広川町「広川町商工会２階会議室」	竹中部長出席
7.11.26 ～27	第２５回商工会青年部全国大会（岩手大会）	岩手県滝沢市「ツガワ未来館アピオ　岩手産業文化センター」	竹中部長欠席
8. 1.28	令和７年度資質向上研修会「はじめての Canva 活用実践セミナー」	有田川町「有田川町商工会２階会議室」	竹中部長出席、部員４名欠席
8. 2. 4	令和７年度第２回商工会青年部長会議	和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」	竹中部長出席
8. 2.25 ～26	令和７年度近青連交流会及びリーダー研修会	兵庫県神戸市「itsu 葉・人と防災未来センター」	竹中部長欠席

令和７年度収支決算書

自　令和　７年　４月　１日
至　令和　８年　３月３１日

広川町商工会青年部

収 入 の 部　　（単位：円）

科目 分類	科目 細分類	予算額	決算額	対比増減（減は△）	備考
1 経常収入		240,000	229,150	△ 10,850	
	1 会費	10,000	10,000	0	青年部費@2,000×5
	2 助成金	180,000	180,000	0	青年女性対策費から
	3 賦課金収入	50,000	39,150	△ 10,850	
2 臨時収入		19,530	11,265	△ 8,265	
	1 寄付金収入	10,000	0	△ 10,000	
	2 雑収入	9,530	11,265	1,735	普通預金利息
3 前期繰越収支差額		370,470	370,470	0	
	1 前期繰越収支差額	370,470	370,470	0	
合計		630,000	610,885	△ 19,115	

支 出 の 部

科目 分類	科目 細分類	予算額	決算額	対比増減（減は△）	備考
1 事業費		330,000	128,250	△ 201,750	
	1 研修事業費	90,000	10,000	△ 80,000	第25回商工会青年部全国大会(岩手大会) 10,000
	2 組織強化対策費	10,000	0	△ 10,000	
	3 地域振興活動費	120,000	118,250	△ 1,750	商工祭　なでしこウェーブスライダーレンタル料118,250
	4 講習会開催費	100,000	0	△ 100,000	
	5 奉仕活動費	10,000	0	△ 10,000	
2 管理費		270,000	77,435	△ 192,565	
	1 旅費	100,000	4,000	△ 96,000	第１回県青連部長会議日当代2,000円 第２回県青連部長会議日当代2,000円
	2 事務費	40,000	12,285	△ 27,715	切手代@180×5(900) 近青連へ振込料385 令和7年度事務手数料11,000
	3 会議費	50,000	11,000	△ 39,000	近青連オープンシャツ11,000
	4 渉外費	20,000	14,000	△ 6,000	竹中良太部員（母通夜の生花代）11,000 郡青連通常総会懇親会費3,000
	5 負担金	50,000	34,000	△ 16,000	①令和7年度県青連会費@1,700×5(8,500) ②主張発表分担金@100×5(500) ③記念事業特別賦課金1,000 ④100円玉募金@100×5(500) ⑤緊急時行動力活性化基金@400×5(2,000) ⑥近畿ブロック大会登録費@300×5(1,500) 令和7年度郡青連会費10,000 令和7年度資質向上研修会　郡青連通常総会懇親会費10,000
	6 雑費	10,000	2,150	△ 7,850	2026年版青年部手帳@430×5(2,150)
3 予備費		30,000	0	△ 30,000	
	1 予備費	30,000	0	△ 30,000	
4 次期繰越収支差額			405,200	405,200	
	1 次期繰越収支差額		405,200	405,200	
合計		630,000	610,885	△ 19,115	

監　査　報　告　書

令和８年４月２２日部長から提出された令和７年度事業報告書・収支決算書および証拠書類の各事項について監査したところ、その内容は適切なものと認めます。

令和８年４月２２日

広川町商工会青年部
部長　竹　中　　仁

監　事　竹中良太　印

第２号議案

令和８年度部費額及び徴収方法の決定について

令和８年度部費額及び徴収方法（案）を次の通り提出する。

令和８年４月２２日

広川町商工会青年部
部長　竹　中　　仁

令和８年度部費額及び徴収方法（案）

１．部 費 額　　２，０００円（年額）

２．徴収方法　　全額を一括徴収するものとし、納入期限は
令和８年８月３１日とする。

第３号議案

令和８年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の決定について

令和８年度事業計画（案）並びに収支予算（案）を次の通り提出する。

令和８年４月２２日

広川町商工会青年部
部長　竹　中　　仁

令和８年度事業計画（案）

自　令和８年　４月　１日
至　令和９年　３月３１日

１．　基本方針

国内の事業者は、価格転嫁による取引適正化や付加価値創出に取り組むことにより、持続的な賃上げや成長投資の原資を確保することが求められるとともに、地域の稼ぐ力を高め、新たな投資や消費を喚起する「地域経済の好循環」を実現することが必要だと考えます。

そんな中、我々商工会青年部は、次世代の担い手として地域の経済活動の活性化のために、経営者または、経営の後継者として個々の事業の成長と、地域活性化を目的として先駆者にならなければなりません。

時代を担う商工会の後継者として、以上の認識のもと、本年度の事業計画を次の通り掲げます。

２．事　　業

（１）研修活動

青年経営者としてまた、地域社会に不可欠な商工業後継者として、企業経営に必要な知識の習得と資質の向上を図り、研修会を開催すると共にあらゆる研修会・研究会に参加する。

①　令和８年度通常総会・部員レベルアップ研修会
期日：令和８年４月１９日（日）
場所：和歌山市「ダイワロイネットホテル」

②　第５３回商工青年セミナー・主張発表和歌山県大会
期日：令和８年７月１２日（日）
場所：和歌山市「ダイワロイネットホテル」

③　近畿ブロック商工会青年部交流研修会及び主張発表大会
期日：令和８年９月２日（水）～３日（木）
場所：白浜町「アドベンチャーワールド」

④　商工会青年部・女性部全国組織化６０周年記念大会
期日：令和８年１０月２７日（火）～２８日（水）
場所：東京都「東京国際フォーラム」

（２）調査研究活動

地域住民の意向や地域商工業の実態など商工会活動の基礎資料収集や分析研究を行う。

（３）広報及び意見活動

商工会員、部員に対しての情報提供、さらに地域住民に対する広報活動を行うと共に調査研究の成果に基づき関係機関に具申を行う。

（４）地域活動　地域経済活性化のための活動と推進。「商工祭」への協力。

（５）奉仕活動

地域社会の魅力づくり実現のため、地域の美化運動、イベントの開催、交通安全運動、並びに体育振興事業の実施

（６）商工会事業への参加

商工会が行う各行事、講演会に積極的に参加する。

（７）他市町村青年部との交流、連携を図るため有田郡商工会青年部連絡協議会事業に参画する。

（８）組織強化のため部員の増強を図り、部員相互の親睦を深める事業を行う。

（９）関係団体と協調して、社会福祉に寄与する事業を行う。

令和８年度収支予算（案）

自　令和８年　４月　１日
至　令和９年　３月３１日

広川町商工会青年部

収 入 の 部　　（単位：円）

科目 分類	科目 細分類	本年度予算額	前年度予算額	対比増減（減は△）	備考
1 経常収入		244,000	240,000	4,000	
	1 会費	14,000	10,000	4,000	@2,000×7名
	2 助成金	180,000	180,000	0	本会より助成
	3 賦課金収入	50,000	50,000	0	懇親会他
2 臨時収入		10,800	19,230	△ 8,430	
	1 寄付金収入	10,000	10,000	0	
	2 雑収入	800	9,230	△ 8,430	普通預金利息等
3 前期繰越収支差額		405,200	370,770	34,430	
	1 前期繰越収支差額	405,200	370,770	34,430	
合計		660,000	630,000	30,000	

支 出 の 部

科目 分類	科目 細分類	本年度予算額	前年度予算額	対比増減（減は△）	備考
1 事業費		360,000	330,000	30,000	
	1 研修事業費	70,000	90,000	△ 20,000	
	2 組織強化対策費	10,000	10,000	0	
	3 地域振興活動費	120,000	120,000	0	
	4 講習会開催費	150,000	100,000	50,000	
	5 奉仕活動費	10,000	10,000	0	“絆”感謝運動
2 管理費		270,000	270,000	0	
	1 会議費	50,000	50,000	0	総会懇親会　他
	2 旅費	100,000	100,000	0	県青連総会 主張発表大会等
	3 事務費	40,000	40,000	0	切手、ハガキ等
	4 負担金	50,000	50,000	0	県青連会費 郡青連会費 主張発表賦課金 参加負担金
	5 渉外費	20,000	20,000	0	緊急時行動力活性化基金　他
	6 雑費	10,000	10,000	0	青年部手帳 他
3 予備費		30,000	30,000	0	
	1 予備費	30,000	30,000	0	
合計		660,000	630,000	30,000	

令和８年度広川町商工会青年部部員名簿

令和８年４月１日現在

NO	役　職	氏　名	事 業 所 名
1	部　　長	竹　中　　仁	うどん・そば・鍋処つかさ
2	副 部 長	田　中　侑　弥	侑栄
3	副 部 長	吉　田　直　人	吉田水道サービス
4	常任委員	石　井　健　人	奥商
5	常任委員	植　山　　翼	（有）井関自動車
6	常任委員	谷　口　　立	立建装
7	監査委員	竹　中　良　太	(株)竹中電気